

校長通信

東京都立戸山高等学校

校長 布施 洋一

卒業生から在校生へのメッセージ

3月10日（土）、心配された雨も上がり、早春のうららかな日差しの中で、平成29年度第70回卒業式が挙行されました。平成29年度の卒業生は、昨年度より1学級少ない8学級323名です。

私は昨年4月に戸山に着任したので、卒業生とは1年間だけのお付き合いでしたが、何といっても印象に残っているのが戸山祭です。戸山祭では3年生全クラスでそれぞれ映画制作を行うことが伝統になっていますが、どのクラスの映画を見ても、高校生らしい主張が感じられ、しかもそれが独りよがりのものではなく、ある種の普遍性と説得力をもって伝わってきたことに感銘を受けました。これは、卒業生一人一人が持っている豊かさの証しであるとともに、安易な妥協を許さず、常に文化的な質の高さを追求する戸山祭の伝統の中で、強固な仲間意識や結束力が生まれ、一人一人が持っている能力以上の力が発揮された結果ではないかと思います。

このような卒業生の集団としての質の高さは、学習面にもいかに発揮され、「受験は団体戦」の合言葉のもと、最後の最後まで高い志望を持ち続け、目標達成に向けて懸命に努力する姿は見事としか言いようのないものでした、その結果は、卒業生の総数が昨年度より1学級少ないにもかかわらず、東京大学現役合格者5名（昨年度5名）、国公立大学医学部医学科現役合格者3名（昨年度2名）といった成果に表れていますが、今一步力及ばず、それでも第一志望の貫徹を目指して次年度に捲土重来を期す人たちにとっても、戸山で身に付けた力が無駄になることは決してありません。卒業生の前途が洋々たるものであることを心から願うとともに、1・2年生が卒業生の伝統を引き継ぎ、さらに発展させていってくれることを期待しています。

ところで、本校のチーム・メディカル（TM）事業は平成28年度から始まったので、正式なTM一期生は現2年生ですが、29年度卒業生にも2年次からTMの活動に参加してきた生徒がいます。そのうち2名が国立大学医学部医学科に現役合格しました。さらに、直接TMの活動には関わっていなかったものの、国立大学医学部医学科に現役合格した生徒、また東京都卒（卒業後9年間へき地医療等に従事することを条件に入学金及び授業料等が全額免除）で在京の私立大学医学部医学科に現役合格した生徒もいます。3月23日（金）に行われた「医学部医学科合格者との懇談会」では、浪人して今春第一志望の国立大学医学部に合格した既卒生も含めて5名の医学部医学科合格者が集まり、戸山高校での3年間を振り返りながら、医師になることを決めた理由や効果的な勉強方法等について、自らの体験談を語ってくれました。

実体験に基づいた先輩たちの話は現1・2年生にとって大変参考になるものでしたが、共通していたのは「戸山の授業で医学部医学科に合格できる学力は十分身に付けられる」ということです。実際、医学部医学科に限らず、難関大合格者の中には塾・予備校等に全く行かずに現役合格を勝ち取った人もいますし、部分的に塾・予備校等を利用したとしても、あくまで学校中心の学習を続けてきた人がよい結果を出しています。また、部活動を3年まで続けながら、学習と部活動を両立させ、栄冠を勝ち取った生徒もたくさんいます。日々の授業を大切にして、あとは粘り強く取り組む姿勢と努力が重要だということです。

これは、卒業生から在校生へ向けた貴重なメッセージです。現1・2年生は、先輩のメッセージを胸に刻んで、自らの希望進路の実現に向けて悔いのない高校生活を送ってほしいと思います。